

図書館だより

2学期です。いよいよ希珠祭の準備がはじまります。みなさんが真剣に演劇や運動に向き合っている姿はさわやかで、立派だなとおもいます。まだまだ過酷な暑さが続きますが、体調管理に気を付けて最高の希珠祭にしましょう。



三珠中学校図書館

令和7年9月号

図書館からのお知らせ

夏休み中に借りた本は返しましょう。次に読みたい人もいるので、おねがいします。

1学期の貸出数は287冊でした。内訳は1年生156冊、2年生108冊、3年生23冊です。

これから読書の秋です。三珠中図書館へきてくださいね。

希珠祭準備にどう？

希珠祭では、演劇の小道具など作るとおもいますが、参考になりそうな資料を紹介します。

青春ハンドメイド 全3巻 594セ1～3

舞台衣装や小物づくりの参考になります。ちょっと難しいけど、わかりやすい説明と写真があるので、満足できる一品ができるはずです。

たのしむ！学校イベント かんたんクラフトBOOK 750ク1～3

学校イベントにぴったりの本です。校内の装飾の描き方のヒントになります。学園祭にかぎらず、委員会活動にも使えるので、参考にしてみてください。

新着本情報

ちはやふる plus きみがため 1-4 末次由紀著 726ス1～4

みずさわ

瑞沢高校かるた部はかつて強力な先輩たちを輩出した名門である。そんな先輩たちに憧

れて凛月^{りつき}はかるた部へ入部したいと思っているが、父子家庭のため父は仕事が忙しく、凛月が小さな妹の世話や家事全般をしていたため、かるただけに打ち込めないジレンマを抱えていた。また、同じクラスの秋野は母の束縛が強く、高校生らしい自由も制限されていた。それでも百人一首の世界に魅了され、かるた部へ入部する。そして部員それぞれの事情を抱えながらかるたの聖地・近江を目指す。

この作品は映画にもなった「ちはやふる」のその後の話です。随所に前のキャラクターたちの活躍を見ることができます。

この漫画で、好きな一首を見つけてほしいです。

戦争さえなければ てんてこまい著 726テ

著者はおばあちゃんの遺品整理のために実家を訪れ、そこでおばあちゃんの作文を見つけました。その作文の題名が「戦争さえなければ」。おばあちゃんは鹿児島県の離島・徳之島で生まれ大家族の中で貧しいながらも家族仲良く暮らしていました。しかし、太平洋戦争で家族すべてを失い、学校に行く暇もなく仕事と子育てに明け暮れてきたので字が読めませんでした。そして50歳を過ぎてから夜間中学校に通いました。この作品ではおばあちゃんが一生懸命文字を覚えようとする姿や勉強することの喜びがとても伝わってきました。あらためて「戦争」で失うことの大きさを考えさせられます。

あの夏のキミを探して 汐見夏衛著 913シ

学校に行けない中一の陽和^{ひより}は、夏休みに訪れたおじいちゃんの家^{ひより}の裏山で、不思議な少女・キミちゃんに出会う。キミちゃんはとても言葉が丁寧で、陽和があげたマーブルチョコを物珍しげに見ながら「とってもおいしい」と言って食べた。キミちゃんとは前からの親友のように感じた。しかし、また明日も会えると思っていたら会えなくなり、月日が過ぎていくと・・・。

上記の『戦争さえなければ』と同様に戦争によって若者たちの青春は奪われました。このようなことは二度とあってはならないと思います。